

「学輪 I I D A」プロジェクト検討会議（概要）

大学連携会議においてさまざまな提言、課題、意見が出たため、これらの中から現実的なもの、実施可能なものを抽出し、具体的にアクションを起こしていくためのプロジェクト会議を開催した。

1 開催時期

平成23年3月23日（水）

2 会 場

飯田市役所第2委員会室

3 メンバー

牧野 光朗 飯田市長／各大学教員

4 内 容（概略）

前回の大学連携会議において出された提言、課題、意見について、今後実現可能なもの等について議論を行い、具体的な方向性を見いだしていくことを目的とした。

結論

- ・大学院大学の実現可能性について、実例調査を行う。
- ・文科省事業の教育関係共同利用拠点について実現可能性調査を行う。
- ・飯田フィールドスタディの方法について、別途とりまとめ等を行う。
- ・その他多くの視点が出された。
- ・メーリングリストを作成し、今後のプロジェクトのメンバーへの連絡はこれを利用するとともに、メンバー同士の連絡や情報交換に使用できるようにする。

※ 内容については以下の通り。

意見 ※要点のみ抜粋

1 学輪 I I D A の活動

- ・飯田工業高校跡地の有効利用を見越した展開が必要
- ・地域の課題を抽出し、研究テーマとして学輪 I I D A 内で公募をかけ、応募した大学と共同研究を進めるのはどうか。
- ・フィールドスタディのカリキュラム案を大学側で企画作成できないか。
- ・しんきん南信州地域研究所に専任の常駐スタッフを置けないか。
- ・学輪 I I D A ウェブサイトを作り、そこで情報交換、意見交換しては如何か。

2 飯田工業高校跡地の有効利用について

- ・地域おこし的に大学を設立したほとんどの大学で定員割れを起こし、自治体の財政負担

が重くなっている。大学院大学は健闘しているところもいくつかあり、リスクも比較的少ない。他県の事例等も調査し検討してはどうか。

- ・学輪 I I D Aでの連携大学院の可能性はあると思う。
- ・デポジットライブラリ（共同利用できる寄贈本図書館）機能について検討
- ・文科省事業の教育関係共同利用拠点について実現可能性調査を行う。

3 本年度のフィールドスタディ

- ・飯田でのインターンシップを含むキャリア教育の機会をいただきたい。
- ・飯田でのミニシンポの機会をいただきたい
- ・（上記2つの意見受けて）分野ごとにミニシンポを開催してはいかがか。
- ・フィールドスタディは例年より時期を少しずらすなどし、なるべく複数大学が共同実施できないか。その際共同研究発表会も併せて行なっては。